



Gilletteの成功

一生かけても、それを見つけるには足りない。あなたはそう教えてくれた。

成果のなかに。

数字のなかに。

市場のなかに。

昇進のなかに。

渡り歩いた国々のなかに。

名刺に刷られた肩書きのなかに。

頂上だと思っていた。

やがて、影だと分かった。

速く走れば走るほど、遠ざかっていった。

もともと、追いかけるものではなかったのだ。

だから職業を変えた。

追うのをやめた。

観察を始めた。

人を。

物語を。

失敗を。

逃した機会を。

女を。

とりわけ女を。

そして、どの学校も教えてくれなかったことが分かった。

私には道のりが必要だった。

それがなければ、決して分からなかっただろう。

成功は征服ではない。

承認である。

奪うものではない。

受け取るものだ。

たどり着いたかどうかを、男は自分で決められない。

決めるのは人生だ。

そしてときに、人生は女の顔をしている。

だから私は、ごく単純なことをにらんでいる。

成功はどこかで私を待っているのではない、と。

契約や、本や、賞や、数字の陰に隠れているのでもない、と。それはやって来る。

静かに。

予告もなく。

ファンファーレもなく。

ひとりの女から。

彼女がそう決めたときに。

そして彼女は、決してイタリア語を話さない。

フェルディナンド